

モクマオウ

か めい
科名 モクマオウ

がくめい
学名 Casuarina equisetifolia

べつ めい
別名 トキワギョリュウ



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 オーストラリア^{げんさん}原産。^{おきなわ}沖縄、^{おがさわら}小笠原で
やせいか
野生化

は かたち
葉 の 形 せんけい
線形

は ふち
葉 の 縁

は さき
葉 の 先

は しゅるい
葉 の 種類

は つきかた
葉 の 付方

は きふ
葉 の 基部

み しゅるい しゅうごうか
実 の 種類 集合果

はな がくいろ おぼな たんはくしよく
花・萼色 雄花は、淡白色

せつ せい
説 明 ぼうふうほあんりんなどの目的として植林されており、高さ7-10m、ときには20mに達する常
りよく こんぼく わかえだ はいはくしよく けがみつ は 緑の高木です。若枝には灰白色の毛が密に生えますが、のちに無くなります。緑色で葉の
み こえだ はり ほそ た さ なが ように見えるのは小枝で、針のように細く垂れ下がり長さは13-25cmになります。実は集
ごうか だえんけい なが めいじ ねん たいわん たね どうにゅう 合果、やや楕円形で長さ1.3-2cmです。明治41年に台湾より種が導入されました。